

裾野市	所属議員	浅田基行、井出悟
------------	------	----------

【活動選定項目】 国・県・市町で取り組むテーマを設定	<p>① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車)</p> <p>② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現</p> <p>③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上</p>	<p>④ 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成)</p> <p>⑤ 子育て支援策</p> <p>⑥ 行政の DX 推進施策</p> <p>⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)</p>
具体的活動 (調査・研究含む)	<p>・政策討論会) <u>多様な移動手段の担い手の確保と育成に向けた政策提言の実施</u> 移動弱者が多く潜在する地方都市、集落地域において、持続可能な地域移送システムを維持する為の、輸送・旅客の「担い手」の確保政策の議論を開始。タクシー事業者と意見交換を実施。9月に議員提出の提言として市長に提出。</p>	【図や活動の様子が分かる写真など】
選択した項目 テーマ ②	<p>・市単独研修) <u>地域公共交通政策に新しい発想を～未来は変えられる</u> (名古屋大学 大学院環境学研究科 教授 加藤博和先生)</p> <p>コミュニティバス、デマンドタクシーなどの公共交通の先進取り組み事例を研究した。市議会議員が「公共交通は自治体の基礎インフラ」という意識を持つことが重要であり、自治体の財政力に依存しない公共交通の構築について課題意識を持つことが重要である。</p>	
今後の活動	<p>「担い手の育成に向けた政策提言」：2024/09 を目処に、市議会としての政策提言の実現に向けて活動を進める。</p> <p>「富士山南東スマートフロンティア推進協議会」：2 市 1 町の連携により実証→実装へのフェーズアップを狙う。</p>	

具体的活動 (調査・研究含む)	<p>・DX化の実施</p> <p>デジタル庁の、地方公共団体における住民と行政の接点（フロントヤード）改革の実証支援事業に採択され、書かないワンストップ窓口の実現に向けた業務改善の様子を視察。市民課窓口のオンライン予約、おくやみワンストップ窓口、文化施設、体育施設などの市民利用が多い公共施設の、使用申請、使用料支払いのオンライン化とキャッシュレス対応検討、学校の体育館などのスマートロック導入の研究が並行して進んでいる。</p>	【図や活動の様子が分かる写真など】
選択した項目 テーマ ⑥		
今後の活動		